

ワークライフバランス支援室

連絡先

TEL 0853-20-2534

Email : wlb@med.shimane-u.ac.jp

業務内容

- 1) 情報発信
- 2) カウンセラーによる相談窓口
- 3) キャリア教育
- 4) 病児・病後児保育室の運営
- 5) 病棟保育
- 6) フレキシブルな勤務の紹介・提供

平成 19 年度文部科学省の「地域医療等社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム(医療人 GP)」に、本学呈示の「新しいキャリア継続モデル事業—しなやかな女性医療職をめざして」が採択されたのを機に「女性スタッフ支援室」が開室し、様々な医療職支援事業を推進して参りました。3 年間の事業期間を経て当初の目的を達成し、平成 21 年度末で事業期間は終了いたしました。平成 22 年度から、女性スタッフ支援室は新たに「ワークライフバランス支援室」と改称し、性別の区別なく皆が働きやすい医学部・附属病院を目指して活動しています。

1. 情報発信

ワークライフバランス支援室ホームページや月刊メールマガジンの配信を通して、両立支援制度の周知やロールモデルの呈示を行っています。

2. カウンセラーによる相談窓口

性別を問わず全職員・学生のための相談窓口を開設しています。窓口には毎週 2 人のカウンセラーが来室し、学生・職員の様々な悩みや不安解消のための面談やコンサルテーション活動を行っています。平成 20 年度の開設から平成 22 年度末までのべ相談件数は 335 件にのぼります。個人的な相談の他にも、就労環境改善に関する意見や提案なども受付けています。

3. キャリア教育

新人看護師・研修医・学部学生を対象とした講演会・座談会などの開催を通して、医療人としてのモチベーションを高め、現場定着、離職防止を図っています。平成 23 年 1 月から、昼食を共にしながら先輩医療職と学生や若手医療職が交流する企画、「ランチョントーク」を毎月 1 回実施しています。多彩な先輩ゲストによる様々な体験談は参加者に大きなインパクトを与えています。

4. 病児・病後児保育室「ニコニコうさぎ」の運営

常勤看護師、保育士の 2 人体制で、お子様の病気の回復に配慮したきめ細かい保育が大変好評です。平成 20 年度の開設時からのべ登録者数は 100 人を超え、のべ利用者数は 465 人に達しました。医療系職員はもちろん、基礎系教員や事務系職員など全ての職種にわたって幅広く利用されています。平成 22 年度からは、本学が業務を委託する事業者の職員の方も利用できるようになりました。院内保育所や附属病院小児科と連携した代理受診制度も確立しています。

5. 病棟保育

小児科病棟で保育を実施し、患児の療養の質の向上や保護者負担の軽減に寄与しています。

6. フレキシブルな勤務の紹介・提供

育児・介護と仕事の両立のためのフレキシブルな勤務の紹介や提供、復帰支援などをおこなっています。中央検査部採血室では、離職から復帰した短時間勤務の採血担当者が勤務しており、採血待ち時間の短縮という成果を上げています。

ワークライフバランス支援室スタッフメンバー

室長：内田 伸恵（放射線腫瘍学講座教授）

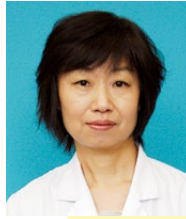
副室長：津森 登志子（解剖学講座・神経形態学准教授）

カウンセラー：山下 由利子（臨床心理士）

カウンセラー：蔵 あすか（臨床心理士）

技術補佐員（看護師、保育士）4 名

事務補佐員 1 名



室長(教授)

内田 伸恵

専門分野

放射線腫瘍学、癌の集学的治療

資格

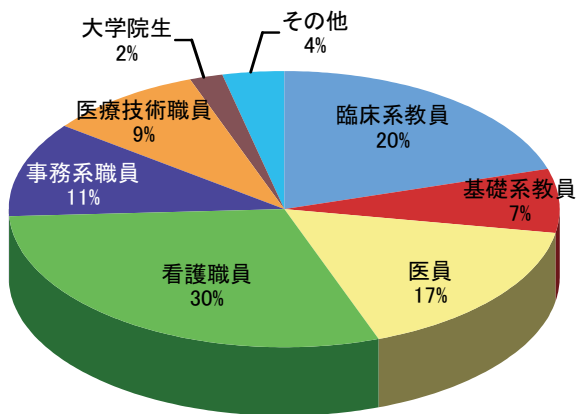
放射線科専門医、日本放射線腫瘍学会認定医、核医学会専門医、日本ハイパーサーミア学会指導医、日本がん治療認定医機構暫定教育医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、PET 核医学認定医



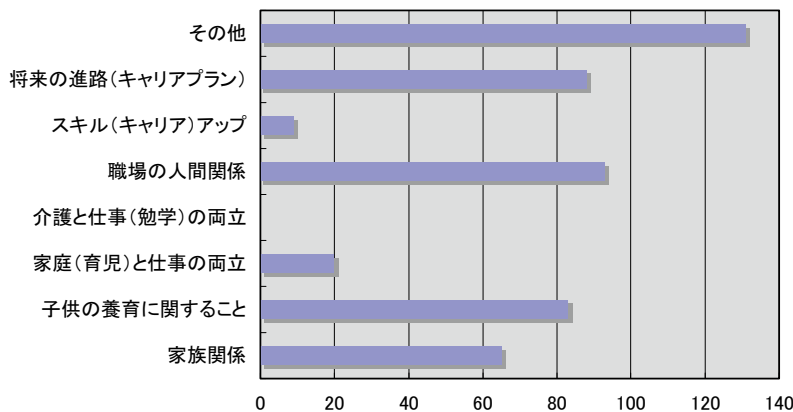
ニコニコうさぎ保育室



第1回「ランチトーク」の様子

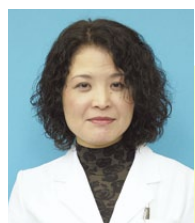


ニコニコうさぎ利用保護者の職種



相談窓口で受け付けた相談内容の内訳(H20~H22年度末まで)

スタッフのプロフィール



専門分野

神経解剖

資格

医学博士

副室長(准教授)
津森登志子



資格

臨床心理士

カウンセラー
山下由利子



資格

臨床心理士

カウンセラー
蔵 あすか